
優しいあなたとロボットのぼく

武智舞

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

優しいあなたとロボットのぼく

【Nコード】

N89060

【作者名】

武智舞

【あらすじ】

また、会いたいです。

(前書き)

ぼくシリーズ第三弾

あなたはぼくに優しいね。

どうして、そんなに優しいの？

どれだけ考えてもわからない。

でてくるのは、いつも後ろ向きで、ぼくはやっぱりわからないんだ。

毎日、窓からあなたが見える。

ぼくは見たら絶対忘れない人だけど。

あなたは特に忘れられない気がする。

あなたはデザイン科で、ぼくは普通科。

だから、教室がちがう。

学年は同じなのに。

あなたとぼくはこれっぽっちもつながりがないね。

こうして、窓から見るのがほとんどだ。

それなのに、たまに会うあなたはぼくに優しい。

まるで、ぼくを覚えてるかのようだ。

でも、あなたはいつも初対面であるかのように振る舞う。

はじめは疑ったけど、ほんとに知らないみたいで、あきらめたよ。

だから、ほんとに知りたかった。

どうしてあなたは優しいのか。

こんな、ぼくを、人間みたいに扱ってくれるなんて、うれしいんだ。

ロボットだから、差別して当たり前前の存在が、人間に見えるあなたが、好きです。

そんなあなたはもう遠い。

時々聞こえるあなたのこと。

今のぼくを見たらどう思うだろう。

今のぼくは人間だ。

誰とも同じ人間だ。

ある日、あなたが昔のぼくみたいな存在になってると聞いた。

心配した。

でも、あなたはそんな存在になれないと思う。

この気持ちは心配なのか、それとも逃げてるのかな。

わからないふりをした。

やがて、あなたのことが聞こえなくなった。

大丈夫ですか、大丈夫だろう。

ねえ、優しいあなた。

また、会えると信じたい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8906o/>

優しいあなたとロボットのぼく

2010年11月25日01時16分発行